

桜島学校の教育（基本的な考え方）（2026.1）

【関係法令等】

- ・日本国憲法及び関係法令、学習指導要領
関係教育施策等

【鹿児島県教育振興基本計画】

- ・「夢や希望を実現し
ともに未来を創る鹿児島の人づくり」

【鹿児島市教育振興基本計画】

- (か) 鹿児島市に誇りを持ち、
- (ご) これからの時代に必要な生きる力を養い、
- (し) 心身ともにたくましく、
- (ま) 学び続ける人材を社会全体で育成します。

教育理念（桜島学校において育成したい理想とする児童生徒の姿）

桜島のように豊かでたくましい人づくり

◎ 桜島のように…

※ 唯一無二の存在感

※ 雄大さと美しさ

※ 人々を魅了する荘厳な姿

※ 安定感のあるたくましさ

学校教育目標

ワクワク、イキイキ、ノビノビ学んで、みんなのニコニコがいっぱいの学校

ワクワク

課題の発見・設定、新たな体験、新たな発見
分かる→よりよく分かる、できる→よりよくできる

イキイキ

他者と関わりながら、協働的に、信頼感と安心感
夢中に、自信をもって、楽しみながら、

ノビノビ

自由に、柔軟に、自分のペースで、あきらめず、
前向きに、強いられることなく、試行錯誤しながら、

みんなの

児童・生徒、保護者、地域住民、教職員
桜島学校と繋がる人々

ニコニコ

信用・信頼、共存・共生、自己肯定感、自己存在感
自己実現、心理的安全性の担保、ウェルビーイング

学びのコンセプト（桜島学校における児童生徒の学びの基本となる考え方）

「桜島をまるごと学び舎に」して学ぶ

桜島地域の5つの小学校と3つの中学校が統合され、新たに「桜島学校」が誕生します。これまで各校や各地域で培われてきた価値ある教育や地域の思いを尊重し、継承するとともに、新しい時代にふさわしい教育を「桜島をまるごと学び舎に」のコンセプトの下、5つの柱で創造していきます。

- ① 桜島学校を学びのプラットフォームとして学ぶ
- ② 桜島の「ひと、もの、こと」から学ぶ
- ③ たゆまぬ挑戦（失敗）から学ぶ
- ④ 命の尊さを学ぶ
- ⑤ 桜島学校での「学び」を生かして学び続ける

学びのコンセプト① 桜島学校を学びのプラットフォームとして学ぶ

桜島全域を学びのフィールドとして、桜島学校を学びのプラットフォームとして捉え、活火山の麓にある火山防災のトップシティアの学校として、国内外に学びを発信し、交流を深めるために、外国語やICT活用、コミュニケーションスキルの習得が図られるよう努めます。

また、「こどもまんなか社会」の実現を目指して、コミュニティ・スクール（学校運営協議会の設置）を基盤とした義務教育学校として、学校・家庭・地域がそれぞれ当事者意識をもち、共に手を携えて教育にあたるシステムを構築しながら、地域の活性化に貢献できるよう、桜島学校を核としたスクール・コミュニティ（学校を核とした地域づくり）の実現に努めます。

学びのコンセプト② 桜島の「ひと、もの、こと」から学ぶ

桜島で共に過ごす「ひと」と共に学び、鹿児島県内外、さらには海外の多様な「ひと」から学びます。桜島（火山）や海（錦江湾）、農産物や水産物等、身近にある本物、桜島の「もの」から学びます。桜島を取り巻く自然の恵みや厳しさ、先人が歩んできた歴史、桜島に根付いた伝統や文化など、様々な「こと」から学べるよう努めます。

さらに、桜島にとどまらず、県内外の各種学校や教育機関、企業・団体等、外部の多様なリソースを活用し、社会に開かれた教育課程の実現に努めます。

学びのコンセプト③ たゆまぬ挑戦から学ぶ

雄大で荘厳な桜島で学ぶ中、たゆまぬ挑戦から生じる失敗を恐れず、受け入れ、繰り返しながら、挑戦する勇気や態度、そして挑戦することをあきらめない粘り強さを身に付けさせます。さらに、失敗から学び得た知識や技能を生かして、自ら課題を設定し課題解決に主体的に取り組む態度を身に付けさせるよう努めます。

また、他者の挑戦や失敗を見守り、寄り添い、そこから学び合うことで、互いに高め合いながら、個人や集団で達成感や成就感を味わい、自己肯定感の醸成に努めます。

学びのコンセプト④ 命の尊さを学ぶ

桜島特有の自然環境の中で共生している人々の姿から、それぞれの見方・考え方を尊重し、個々の価値観や生き方の尊厳に触れることで、思いやりや互いを尊重する心、自他の生命を大切にできる態度など、人権感覚を身に付けさせます。

また、桜島特有の自然環境から学ぶとともに、自然の恵みに畏敬の念を持ちながら、桜島で生活していることに誇りを持ち、様々な自然災害や危機事象から自己や他者の命を守る態度や能力を養うよう努めます。

学びのコンセプト⑥ 桜島学校での「学び」を生かして学び続ける

鹿児島市初の義務教育学校である桜島学校で、9年間を一貫させた学びの「連続性」「多様性」を生かした特色ある教育カリキュラムの基、児童生徒は様々な「学び」を通して、資質・能力を身に付けます。そして、それらを基盤として創造力を発揮し、9年間という長いスパンの中で、児童生徒それぞれの学びをデザインしていきます。

桜島学校での学びを基に、生涯に渡って自分自身の人生を楽しみながら、自分を大切に、人の役に立ち、私たちを取り巻く世界をより良くするために、現状や課題を様々な観点から検証・分析し、よりよい方法や手段を模索します。学校（児童生徒・職員）、家庭・地域、そして社会のウェルビーイングの向上に努めます。

桜島学校の教育の重点（学びのコンセプトに基づいた具体的方策とチャレンジ） No.1

- 桜島学校が目指す児童生徒の姿の共有化
 - ・ 各学年・ステージごとに目指す児童生徒の姿の共有化…学校・家庭・地域の協働による児童生徒の育成
 - ・ 児童生徒・家庭との共通理解による学校の決まり（校則）等の策定…児童生徒会による学校の決まり（校則）の策定
- 学びのステージ編成
 - ・ 4（1～4年生）・3（5～7年生）・2（8・9年生）制のステージにおける段階的な学び
 - ・ 各ステージにおけるリーダー育成や役割分担、1から9年生の縦割り編成による異学年の交流
 - ・ ステージ担任制（体制の構築、役割分担、複数での対応）による柔軟で個別的な対応 **チャレンジ**
- 個別最適な学びの構築
 - ・ 9年間を一貫させた教育課程編成の工夫と児童生徒の学びの記録（スタディ・ログ）の活用
 - ・ 前期課程（3～6年生）における教科担任制の導入 **チャレンジ**
 - ・ 2期制の評価（長期スパン）による児童生徒の学びの成果の見取り、つまずきへの対応…年2回の通知表作成
 - ・ 後期課程（7～9年生）における定期テストの見直し、単元テスト等の有効活用…つまずき・個に応じた学びへの対応
 - ・ 8・9年生における課題（つまずき）別学習の時間の設定
- 「さくまるタイム」（仮称）…総合的な学習の時間の学び
 - ・ 魅力探究プロジェクト（仮称）…桜島の伝統と恵みを探究し、地域の魅力発見・発信
 - ・ 桜島学校建設参加プロジェクト（仮称）…プロフェッショナルから学ぶ、本物体験
 - ・ 桜島学校について考える日…挑戦・失敗の日、先生のいない（頼らない）日 **チャレンジ**
 - ・ 桜島大根プロジェクト…旧学校の学びの伝承→R9発展（学校園、新たな学び）
 - ・ 椿油プロジェクト…旧学校の学びの伝承→R9発展（学校林、新たな学び）
 - ・ 防災教育…関係機関、大学等との連携

- 学校行事の在り方の工夫 チャレンジ
 - ・ 運動会（体育大会）の地域との協働開催…地域における児童生徒の役割の創生（桜島地域一体となった取組）
 - ・ 文化祭（学習発表会）の地域・公民館との協働開催…地域における児童生徒の役割の創生（伝統芸能等の継承）
 - ・ 1年生から9年生の縦割り編成による行事への参加…リーダー育成、役割分担、後進育成、異学年の交流
- 大学、教育機関、企業等との連携 チャレンジ
 - ・ 桜島大根プロジェクト、椿油プロジェクト
 - ・ 新校舎学校園・学校林プロジェクト
 - ・ 研究者、学生（実習生）の研究・学びの場
 - ・ 防災教育（桜島地域のフィールドワーク）
- 「教育DX化の推進」
 - ・ 情報教育の推進、AIを活用した学び
 - ・ SNS等を活用した学校教育・地域の魅力発信…保護者・地域との情報の共有
- 「桜島学校応援団」（保護者・地域住民の支援） チャレンジ
 - ・ 学校支援組織の創設…地域人材活用、お父さん、お母さん、お爺ちゃん、お婆ちゃん、おじさん、おばさんが先生
 - ・ 新たな保護者組織（PTA）の創設

児童生徒に習得・活用・発揮させたい
資質・能力
(態度、素養、価値観、人間性、非認知能力)



児童生徒に習得・活用・発揮させたい 資質・能力（態度、素養、価値観、人間性、非認知能力）

心豊かでたくましい身体

- キーワード
 - ・ 人間性、道徳心、受容性、人権感覚、協調性、共生・共存、コミュニケーション能力
同僚性・協働性
- 概要
 - ・ 「心の豊かさ」や「たくましい身体」は、変わる事のない、児童生徒の資質・能力を育むための全ての基盤である。
 - ・ 他者を尊重し、意見や考え方を傾聴する姿勢や進んで関わる態度や素養を育む。
 - ・ 自他のウェルビーイングを実現するために重要な素養である。
- ポイント
 - ・ 「心の豊かさ」＋「たくましい身体」は時代を超えて必要な本質的な気質である。
 - ・ 心理的安全性を担保することで、安心して他者と関わり合える環境を整える。
 - ・ 多様性を理解し、異なる価値観を尊重できる力の基礎となる。
 - ・ 病気や障害がなく、健康であるという意味にとどまらず、病気や障害があっても、強い意志をもって他者と関わる姿勢を重視する。
 - ・ 多様な社会の中で自分らしく、他者と共に生きる力を育む。

児童生徒に習得・活用・発揮させたい 資質・能力（態度、素養、価値観、人間性、非認知能力）

信じる力

- キーワード
 - ・ 自己肯定感、自己存在感、自己効力感、自尊感情、自立・自律、心理的安全性の担保
- 概要
 - ・ 周囲の評価に左右されることなく、「ありのままの自分」を受け入れる力である。
 - ・ 他者の存在や多様性、価値観を受け入れ、尊重する態度を育む。
 - ・ 自己肯定感、自己存在感、自立・自律へつながる力である。
- ポイント
 - ・ 「自分が大切にされている」と実感できる環境づくりが重視し、異学年の関わりの中で、「他者も大切に作る、したい」という気持ちの醸成を図る。
 - ・ 一時的な結果や他者との比較、他者からの評価という、外的要因に感わされる事のない、内面的な力を大切にする。
 - ・ 心理的安全性を担保し、他者との信頼感を育み、自由に自己主張ができる関係性を築く。

考える力

- キーワード
 - ・ 自己決定力、判断力、主体性、実践力、自立・自律、自己表現
批判的思考力（クリティカルシンキング）
- 概要
 - ・ 自分の道（路）を切り拓くために試行錯誤しながら、選択・判断・実行する力である。
 - ・ 自分の責任で考え「決める力」である。
 - ・ 知識と情報を関連付けて深く考察する「考え抜く力」を育む。
- ポイント
 - ・ 疑問を抱きながら真実を見極めるために熟考することが重要である。
 - ・ 様々な問題や課題と真摯に向き合い、自分の意志で意図をもって、考えることを重視する。
 - ・ 自己決定、判断、選択の場を提供し、主体的な学びにつなげる。
 - ・ 子供の「したい」を尊重し、楽しさを学びの原動力にする。

挑む力

- キーワード
 - ・ 課題設定力、課題発見力、行動力、分析力、探究力、忍耐力、忍耐・勇気・気力
- 概要
 - ・ 学び続ける原動力となる力である。
 - ・ 自分なりの課題を発見・設定し、挑戦する力である。
 - ・ 失敗から学び、よりよい学びや深い学びにつなげ、新たな課題に挑もうとする態度を育む。
- ポイント
 - ・ 失敗を恐れず、失敗しても試行錯誤を重ねる姿勢を重視する。
 - ・ 新たな課題に挑戦し続けることが、様々な資質・能力を高めたり、発揮したりすることにつながる。
 - ・ AI時代においても、課題設定力と挑戦する勇気が不可欠である。
 - ・ 失敗を経験し、その経験から学び、成長することが人としての強みになる。

児童生徒に習得・活用・発揮させたい 資質・能力（態度、素養、価値観、人間性、非認知能力）

創造する力

- キーワード
 - ・ 想像力、創造性、対応力、適応能力、洞察力、観察力、情報活用力
- 概要
 - ・ 桜島学校での学びを基に、創造、想像、予測し、新たな意味や価値を生み出す力である。
 - ・ 情報を収集・整理・分析する力を育む。
 - ・ 他者の気持ちや思いを汲み取る力ともなる。
- ポイント
 - ・ 創造性の涵養を目指した教育の充実を図ることで、社会で求められる「0→1を生み出す力」や「アイデアやクリエイティビティを持つ人物」を育成する。
 - ・ 物事の理解を深めるだけでなく、人の気持ちを思いやる力を育む。
 - ・ 桜島の自然環境での学びを生かし、先を予測し、想像する力を育てる。
 - ・ 本物の体験を通して、身に付けたスキルを生かし、リアルな感覚を持って、創造力を発揮する。

学校教育目標 ワクワク、イキイキ、ノビノビ学んで、みんなのニコニコがいっぱいの学校

- 学びのコンセプト
- ① 桜島学校を学びのプラットフォームとして学ぶ
 - ② 桜島の「ひと、もの、こと」から学ぶ
 - ③ たゆまぬ挑戦から学ぶ
 - ④ 命の尊さを学ぶ
 - ⑤ 桜島学校での「学び」を生かして学び続ける

